



有限会社村岡オーガニック



会社概要

平成元年に創業、現在は2代目が代表を務める。「植物を通して人々を幸せにする」をモットーに花苗、野菜苗の生産販売を行う。近年は花の新品种の改良にも取り組み、2010年のジャパンフラワーセレクション(新品种コンテスト)においては自社で品種改良したペチュニアが日本一の「フラワー・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。



会社HP:<https://muraokaorganic.com/recruit/>

X(旧Twitter) Instagram



YouTube Facebook



会社名:有限会社村岡オーガニック

業種:花苗・野菜苗の生産販売

場所:〒689-2214
鳥取県東伯郡北栄町東高尾419番地4

【企業をひとことで(誰に向けて・何を提供している会社か)】

誰に?:主に小売店(まちのお店)や市場に対して
何を?:花、野菜苗の生産販売、品種改良、育種を行う。

経営者インタビュー

【経歴】

鳥取県にて農家の息子として生まれ、岡山大学へ進学しました。22歳の時には、農業を本格的に学ぶために、オランダに1年間留学しました。しかし、卒業後すぐに家業を継いだわけではなく、農業とは関係のない人材派遣系のベンチャー企業に就職しました。その後、Uターンを機に退職し、弟と一緒に家業を継ぎ、現在に至っています。

【前職で学んだこと】

社長との距離が近く、経営についての考え方を隣で学ぶことができました。営業部門での商談や人との関わりを通じてコミュニケーション能力を高め、ビジネスについて学んだ経験は、分野に関わらず今にも生きていると感じています。

【仕事または経営で大事にしていること】

社員にはまず指示された事をしっかりとこなす事が大切だと伝えています。指示通りに仕事をこなして初めて、次のステップに進むことができると言えています。後輩を指導する際には、彼らの思い込みを防ぐために、口頭での説明だけでなく、実際に一緒に作業をしながら工程を説明しています。

【企業の強み】

自社で種を選び、作り、育てる技術を持っていることです。これにより他の農家から購入する際のコストやリスクがありません。その分の時間やお金を使って、新しい事業に着手し可能性を広げていくことができます。中小企業であるため、社員数が少なく多くの仕事を自分たちで行う必要がある反面、その分やりがいも大きいと感じています。

【社員に求める条件・スキルなどはありますか?】

楽しく仕事に取り組んでもらうためにも、まず「植物が好き」であることを何よりも重視しています。また、人間性にも重きを置いています。具体的には、他者を思いやる心、感情のコントロール力、他者への丁寧な接し方など、チームで働く上で必要となる資質を持っているかをしっかり確認します。そのため、年齢や経験にこだわりはなく、これまでには農業未経験の高校生を採用したこともあります。



役職:代表取締役
村岡佑基さん

【社員との関わりの中で意識していること、大切にしていることはありますか?】

何があっても社員を信じることで、社員からも信頼される関係性を築き上げるよう努めています。そのために、定期的に社員とのミーティングを行い、会社への思いや仕事への取り組み方を話し合っています。「働くとは」「自分の強みは」などのテーマで事前にアンケートを取り、それに基づき社員が意見を交換することで、各自が抱く理想と現実のギャップについてお互いに理解することができます。また、社員の新しい挑戦に対しては、積極的なサポートを行っています。これにより社員が単独で取り組む場合よりもリスクとコストを抑えられ、会社の発展にもつながると言えています。



社員インタビュー



山根紳伍さん

年齢:25歳
入社歴:入社2年目

『Q 入社のきっかけ』

最初は食品会社に入社し、その後ネギ農家を経て、今に至ります。求人サイトで村岡オーガニックを知り、面接で社長と話をした際「(時代の)先を見ていて面白そう!植物への愛情が凄くて、この人は分かり合えそう!」と強く感じたのが入社の決め手です。私のキャリアとしては村岡オーガニックが3社目です。

『Q 普段の業務と、心に残っている業務内容を教えてください』

普段の業務内容としては、苗の生産、水やり、植物の育種などを全般的に行っています。最近、道の駅での販売リーダーを任せられ、そこで売り上げを伸ばすことができたことに達成感を感じました。また、お客様から植物やサービスに対して嬉しい声をいただくことも増え、よりいっそう仕事への愛着が深まっています。これからは農業に限らない植物の魅力を見出すことをモットーに、さらなる企画の考案、企業の発展を目指しています。

『Q 入社後に変わったところ』

以前は周囲の人とコミュニケーションを取ることに苦手意識がありました。今では自分の考えをはっきりと伝え、社内での意思疎通を円滑に行えるようになりました。また、与えられた仕事を責任を持って遂行することの大切さを理解し、実践しています。人が成長するためには「小さなことの積み重ね」が重要であると考え、日々努力を積み重ねています。



『Q 学生へのアドバイス』

「やってやるぞ!」という前向きな考え方の重要性を学生皆さんに伝えたいです。前向きな気持ちをもって能動的に仕事に取り組むことで、「まだ1時間しか経っていない…」と考えていたのが、「もう1時間も経っている」という考えに変わりました。時間をどう使うかは自分次第なので、学生として過ごせる時間をぜひ有効活用してほしいと思います!

『Q 入社のきっかけ』

鳥取県の北栄町出身で、高校卒業後は米子の食品製造会社で働いていましたが、昔から植物が好きで自然に触れ合う仕事に就きたいと考えていました。そんな中求人サイトで村岡オーガニックを知り、カフェやグランピング、珍しい品種の植物に関わることの魅力に惹かれ、入社を決めました。

『Q 会社の雰囲気』

社員同士が活発にコミュニケーションを取り合い、忙しい時期や困った時には互いに励まし合える、明るく過ごしやすい職場です。社内の元気や明るさが植物の成長にも影響しているのではないかと感じられます。自分自身の担当している業務に加えて、他の担当者への「そっちは大丈夫?」といった声掛けを通じて互いに心配りと協力をされているので、どんな業務を担当していても安心感があります。



中野紅花さん

年齢:22歳
入社歴:入社1年目

『Q 仕事においての今後の目標は何ですか?』

何百もの種類がある多肉植物の名前や性質を全て覚え、「多肉マニア」になることです。これを達成するために、インターネットを活用しながら必要な知識について勉強しています。また、興味のあることを追求する姿勢を大切にし、次に入る後輩のためにも、分からぬことや知らないことをそのままにしないよう心がけています。

『Q 学生へのアドバイス』

仕事をしていて日々感じる、「コミュニケーション能力」と「興味の追求」の必要性を伝えたいです。仕事内容に対し「なぜこうするんだろう?」という疑問を持ち、周りの意見を尊重しつつ自分の意見を伝えることがとても大切だと感じています。私自身も、全体のミーティングで自分の意見をしっかりと伝えるようになってから、本当に自分がやりたいことが何なのかがわかるようになりました。勇気を出して自分の意見を伝えるという経験を大事にしてください!

学生インタビュー



向井詩乃さん 農学部 生命環境農学科 1年

「植物を通して人々を幸せに」というモットーに触れ、植物の秘める可能性を感じた一日でした。農学部の授業で学べることを超えた植物の魅力を発見し、村岡オーガニックが野菜や花の栽培から通販、YouTubeでの情報発信を行っており、今後、観光農園、カフェなどの新しい分野に挑戦しているところに感銘を受けました。その推進力は、社員一人一人の植物への愛と熱意によるものなのだろうと、社員の皆さまが笑顔で話す姿から感じました。この体験から「働く」ことの意義を再認識し、今後の学びに生かしていく思います。



佐野将大さん 農学部 生命環境農学科 3年

ここまで社長と社員との距離感が近く、共通の目標を持っている企業はなかなか無いと思いました。植物を通して社会に幸せを届けることを軸にしており、社内コミュニケーションも活発で、新しい挑戦や意見の共有を通じて、個人としても会社としても成長している様子が見られました。植物が好きな人にとっては、学びや挑戦ができる素晴らしい環境なのではないかと思います。